

荏原グループで
「障がいをもつ子の親の会を創設」 しません
か？

(株)荏原製作所 佐藤・赤津

登壇者紹介と二人の繋がり

荏原製作所

佐藤 礼

子どもの障がい 重度知的障害
子どもの年代 特別支援学校中学部

荏原製作所

赤津 美樹

荏原グループ社内で展開している、社員間勉強会の事務局メンバー、2児の母

2人の繋がり

IT導入プロジェクトで共に部門リーダーとして参加

2025年2月の「連続セミナー第4回」参加時に「親の会設立の為、勉強会を開催」を決意した佐藤が、プロジェクト終了後（2025年秋）に赤津さんに「親の会」設立呼びかけの協力を依頼。

勉強会を開催し設立を呼びかける際、①まず背景の説明から実施する、②少し期間を置きながら複数回開催することで、当事者や関心がある社員の目に情報が止まりやすくなる、と助言をを仰ぎ、2026年1月から3月にかけて、全3回にわたり昼休みの勉強会を開催しました。

荏原グループでは、お昼休みを中心に**社員間の自主開催勉強会**を展開しています。

2019年秋からオンラインで継続中です。（5年半で680回超開催。延べ6万人の社員が参加）

これまでの勉強会実施内容と参加状況

第1回：1月19日（月）

障がい児及び医療ケア児を育てる
親の会はどんな会？

- 活動紹介（勉強会、法改正までの活動）
- 各社単位での同会設立状況
- 荏原版を作りますか？

参加申し込み：87名

リアルタイム参加者：65名

第2回：2月9日（月）

改正育児・介護休業法

- 親の会の活動で明文化された改正内容について
- 上記法案での各社の導入状況

参加申し込み：78名

リアルタイム参加者：61名

第3回：3月2日（月）

18歳の壁・他

- 福祉制度の紹介（放課後デイ、移動支援、ショートステイ等）
- 18歳の壁（支援学校卒業後）

参加申し込み：83名

リアルタイム参加者：63名

【追記】開催後、社内イントラで動画を公開。申し込み者以外にも広く視聴され、多くの反響や直接の感想をいただきました。

参加者のアンケート（開催直後）

① 非当事者（同僚・上司・一般社員）の声：驚きと共感

「これまで周囲に当事者の方がいなかったため、**どれほど多くの障壁を乗り越えながら業務をこなされているのか、想像すらできていませんでした。**実態を知ることができ、本当に貴重な機会でした。」

「日々の細かなタイムスケジュールや、突発的な対応の多さを知り、ただただ頭が下がる思いです。**周囲の理解とサポートが不可欠だと痛感しました。」**

「障がい児・医療的ケア児という言葉は知っていましたが、生活のリアルを聞いて、**想像以上の過酷さと、それでも前を向いて仕事に取り組む姿勢に胸が熱くなりました。」**

「当事者ではないのですが、何かできることはな
いかと考えさせられました。**まずは『知る』こと
から始められて良かった**です。」

参加者のアンケート（開催直後）

② 人事・労務・管理職の視点：制度や組織づくりへの前向きな声

「会社としての制度をどう整えるべきか、法改正の知識だけでなく、**当事者の『生のニーズ』**を**セットで聴けたこと**に大きな**価値**を感じます。人事部門としても今後の制度作りに生かしていきます。」

「マネジメント層として、**メンバーがこうした状況に直面した際にどう声をかけ、どう業務をフォローすべきかの具体的なヒント**をいただきました。」

「短時間勤務制度の延長や、看護休暇の柔軟な運用など、**会社としてまだまだアップデートできる余地がある**と感じました。前向きに検討したいです。」

参加者のアンケート（開催直後）

③ 当事者（障がい児・医療ケア児の親御さん）の声：孤独からの解放

「社内でこのようなテーマの勉強会が開催されること自体が、一筋の光のようでした。

『自分だけではないんだ』と思えただけで、どれほど救われたか分かりません。」

「子供が大きくなるにつれて直面する

『18歳の壁』について、社内で情報交換ができる場を切望していました。

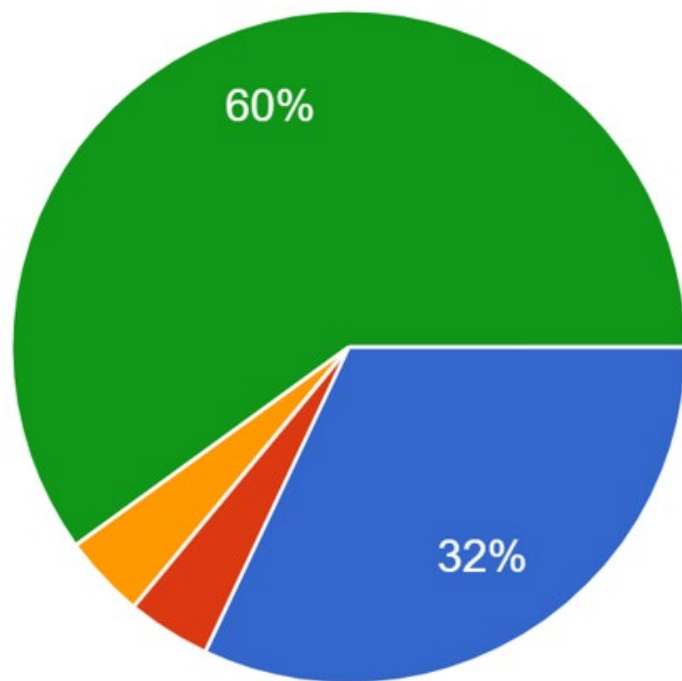
繋がれる仲間ができたことが一番の財産です。」

「当事者であることを会社でオープンにするのは勇気が要ることでしたが、佐藤さんの発信と、参加された皆さんの温かいコメントを見て、

安心して働き続けられる会社だと確信が持てました。」

開催後3カ月後 参加者のアンケート

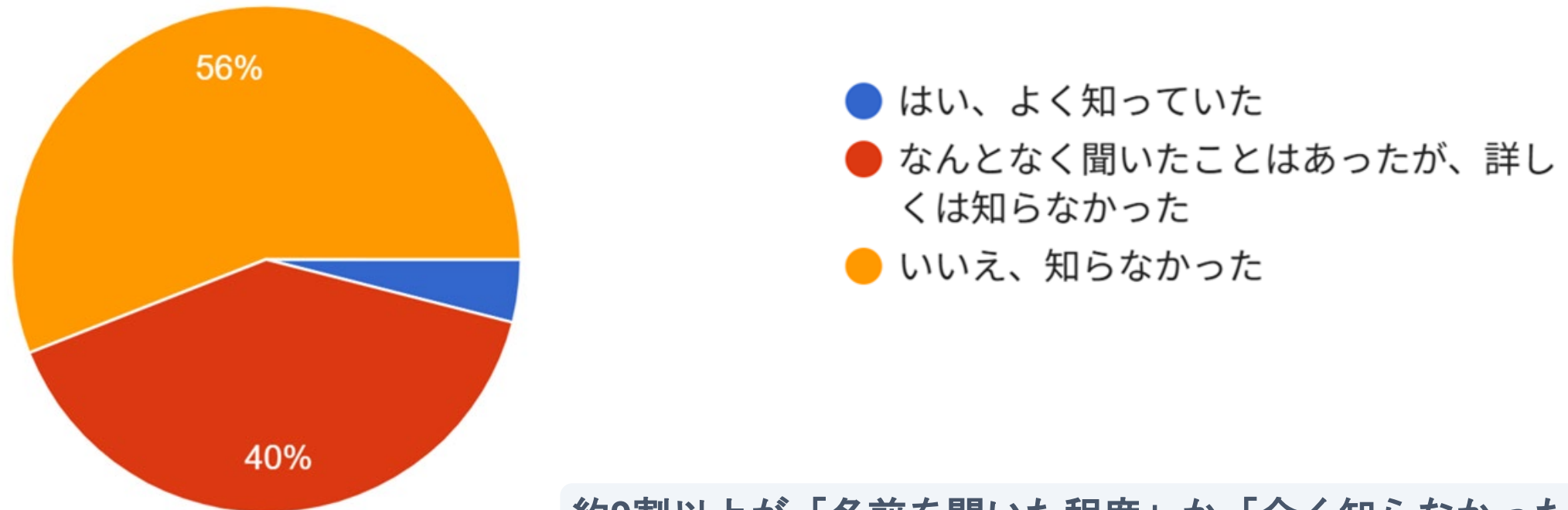
本勉強会には、どのようなきっかけ（お立場）で参加されましたか？



- 当事者（障がいや医療的ケア、発達特性のあるお子さんを育てている）
- 親族や身近な人に障がいのある方がいる
- 主催の佐藤と仕事等で関わりがあるため
- テーマに興味があったため

開催後3カ月後 参加者後のアンケート：事前認知度

勉強会に参加される前、障がいのある子の親が働き続ける上での問題点についてご存知でしたか？
(復職の壁、育休明けの壁、就学後の壁、学校卒業後の壁などの4つの両立の壁)



約9割以上が「名前を聞いた程度」か「全く知らなかった」と回答

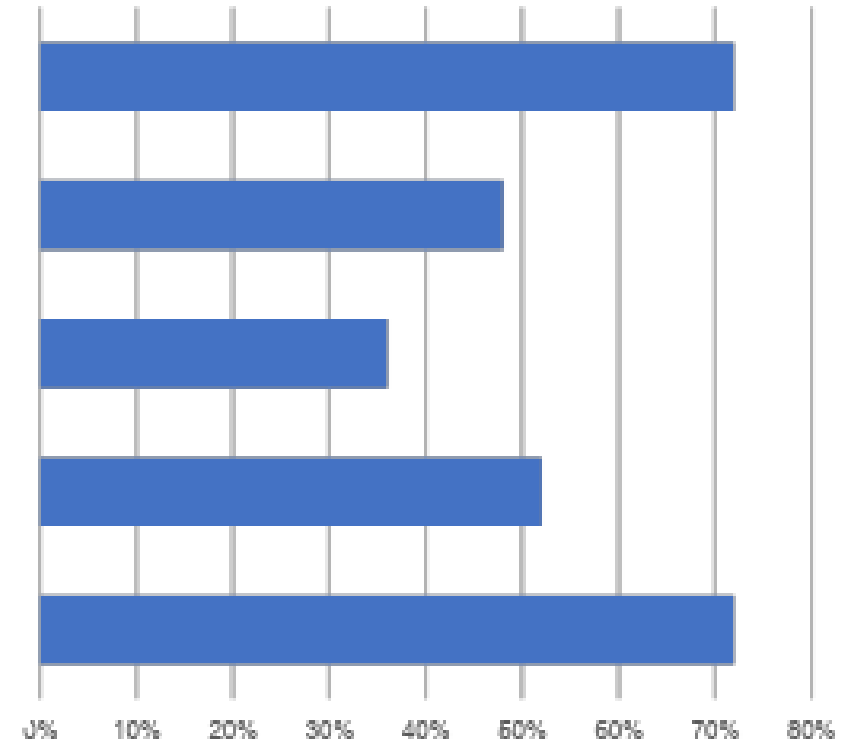
開催後3カ月後 参加者後のアンケート：役にたったこと

勉強会を通じて、仕事と障害児育児の両立や、社内の支援制度についての意識・考え方に役に立ったことはありましたか？

- ・ 介護による時短は「3年上限」など、荏原の現行制度の現状と課題
- ・ 改正育児・介護休業法による義務化や、ガイドラインの内容（個別意向聴取など）
- ・ 他社や電機連合の先進的な導入事例
- ・ 福祉制度（放課後等デイサービス、移動支援等）
- ・ 障がい児の18歳以降の居場所

主な関心項目

- ・ 荏原の現行制度の現状・課題
- ・ 障がい児の18歳以降の居場所



開催後3カ月後 参加者後のアンケート：意識の変化

勉強会を通じて、障がいのある方やそのご家族、または身近な働き方について、あなた自身の「意識や視点」が変わったことはありますか？

視点の広がり

- ・荏原アーネストで働く方に限らず、よく姿が目に残るようになった。
- ・障がいがある方の働き方について興味が出た。

前向きな姿勢

- ・働き方が変化しても、調べれば何らかの解決策があると思えるようになった。
- ・制度の問題を知り、自身が関わる機会があれば配慮ある行動をしたい。

知識の深化

- ・福祉制度について詳しく調べるようになった。
- ・18歳以降の事を考えるきっかけになった。

当事者としての意識変革

「これまでは社内で発信やアクションを起こせずにいました。しかし、今回の勉強会を通じて、**当事者が声を上げ、活動を継続していくことの重要性と意義**を改めて深く考えるようになりました。」

荏原版障がい児医療ケア児の親の会 活動を開始しました！

当事者21名が参加

4月：メンバー初交流会

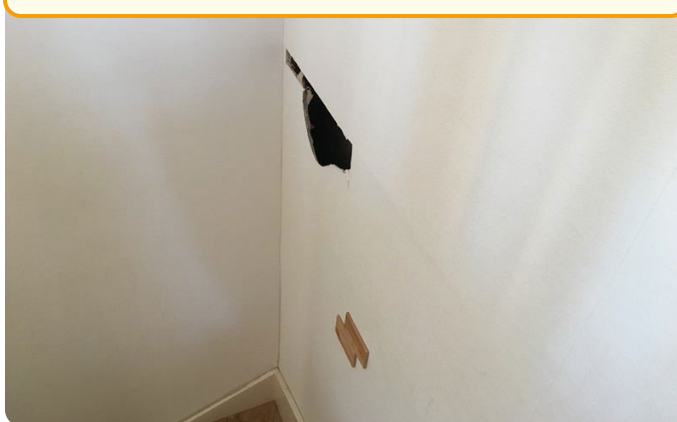
5月：先輩パパからの生活の工夫やアイデア紹介

生活の工夫事例

【冷蔵庫開閉防止】



ある日、次男が壁に大穴
開けました 🐼 🚫



飾り棚の完成 🎉



勉強会を開催してみて

今回、「勉強会」という形で情報発信と会設立の呼びかけをしたことで、多くの仲間と繋がることができました。当事者同士が社内で繋がることができ、非常に心強く思っています。事業部が違ふと知り合う機会がなかった人たちが繋がったことは、仕事を進める上でも最大のメリットです。

また、当事者以外の方にも、障がい児・医療ケア児を育てながら働き続ける仲間の存在や、課題を知ってもらうことができました。これを機に、社内でも制度を整える動きが始まろうとしています。最初の一步は怖かったですが、一步踏み出すと皆さんから沢山の温かいコメントを頂き、開催して本当によかったと思えました。

【ご参考】荏原グループの社員間勉強会について

お昼休みを中心に開催している社員間の自主開催勉強会は、オンラインでは2019年から実施しています

累計開催数

682回

相互の自主活動の集合体です

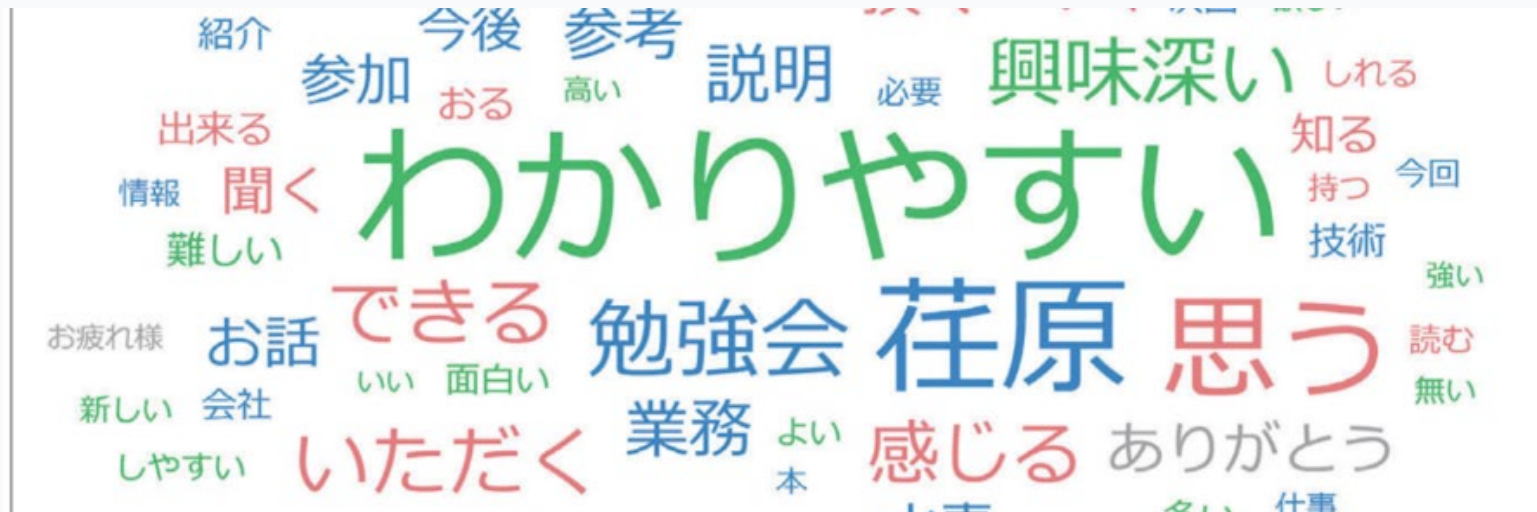
発信したい個人や組織 × 発信を聴きたい・知りたいGr社員

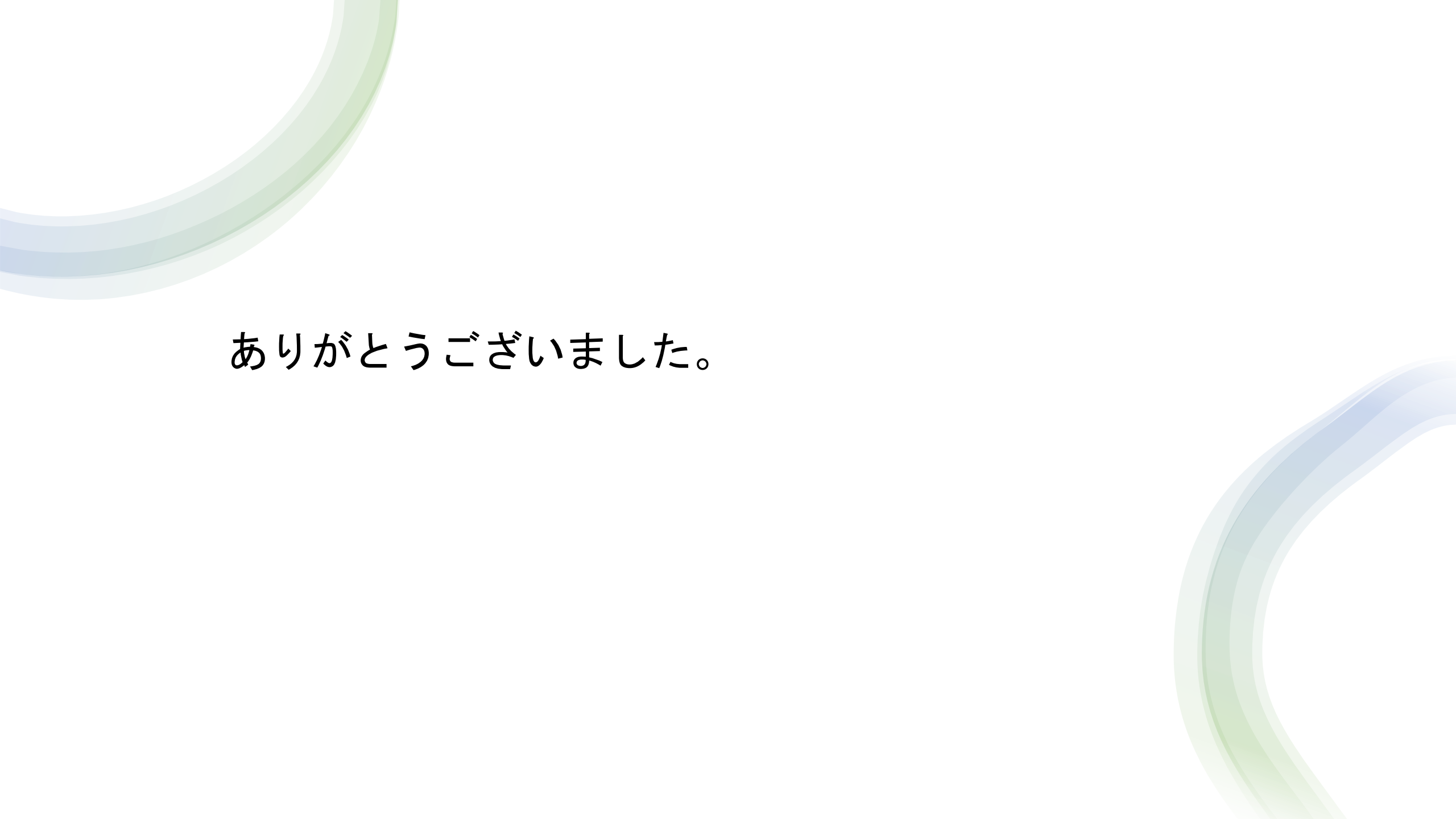
累計参加者数

61,598人

社内のアーリーアダプターが集まる場として多くの部門や社員が自主的に活用してます

参加者アンケートより（テキストマイニング分析）



The image features a white background with decorative curved lines in the top-left and bottom-right corners. These lines are composed of multiple overlapping layers in shades of light green and light blue, creating a sense of depth and movement.

ありがとうございました。